

大雪で市民生活混乱

今後も予断許さず



裏面に特集

市、大雪警戒対策本部を設置 排雪対策連絡会議を招集

13日から集中的に降り続いた大雪で、市民生活は混乱しています。

先週初めの段階で大島区菅蒲3区を超えたのをはじめ、各地で2区を超える積雪を記録しています。

この影響で道路除雪が間に合わず、いたるところで十分な車線が確保できていないほか、圧雪状態になっています。

先週からは市内各地で排雪作業が本格化し、徐々に通行への支障も取り除かれつつあります。

しかし、寒気団の動きが複雑なため、再びまとまって降雪になるおそれもあり、今後も予断許さない状況です。

大島区で積雪状況を調査する橋爪・樋口両議員

市では「大雪警戒対策本部」を設置し、市民生活への対応を図っているほか、



か、市内各組織・団体からなる排雪対策連絡会議を招集し、排雪作業についての打ち合わせを行いました。担当部局では、除雪業者をフル動員し、当初の計画に関わらず、手薄な箇所には他の業者を臨時に派遣するなどの対応をとっているほか、24時間態勢で対応しています。また、要援護世帯への安否確認の訪問活動を行っています。

このほか、市民の自主活動として「お助け隊」なども組織され、助け合いの輪も広がっています。



除雪の手薄な箇所を指摘し担当課と打ち合わせを行う平良木議員

不況打開・業者保護へ誓いあらたに

上越民主商工会青旗開きに参加

16日には、「業者運動を広げ、不況打開と地元業者の保護政策を押し進める運動をさらに強めよう」との誓いを胸に、年明けを祝う上越民主商工会の「青旗開き」が、市内で盛大に行われ、

趣向を凝らしたアトラクションや全員参加のゲームなどで親睦を深め、これらの運動への意欲を高めました。



婦人部の皆さんのアトラクション

団結深め 暮らし守ろう

国労・市職労が 団結旗開き

15日には、国鉄労働組合、上越市職員労働組合の「団結旗開き」が相次いで開かれ、年頭の誓いを新たにしました。



市職労旗開きには樋口議員が参加

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 217 2010年1月24日

- 連絡先
- | | | |
|--------|----------|----------|
| 橋爪 法一 | 548-3628 | (吉川区代石) |
| 樋口 良子 | 544-6802 | (中門前3) |
| 上野 公悦 | 530-2203 | (頸城区中柳町) |
| 平良木 哲也 | 525-9096 | (上中田) |

国労は組織改編により支部から分会となり、事務所も閉鎖となりますが、引き続き地域の労働運動の要として団結を強めていこうと、意気高く誓い合いました。

日本共産党議員団からは、国労旗開きに平良木議員、市職労旗開きに樋口議員が参加しました。



挨拶する国労平田委員長

大雪で困ったら

活用できる支援制度

※除雪車が入らない道路を除雪したい

(小型除雪機購入費補助事業)

市道や私道の除雪を5戸以上で協力して行う場合に購入費の一部を助成

(小型除雪機無償貸与事業)

町内全体の生活道路除雪のために、市で購入した除雪機を町内に無償で貸与

(狹隘道路除雪事業)

除雪車が入らない狭い市道を歩道用ロータリー除雪車で日中に除雪

※玄関先の除雪や屋根の雪下ろしがたいへん

(要援護世帯除雪費助成事業)

屋根や玄関先などの除雪が難しい世帯が他の人に除雪してもらう場合に費用を助成 高齢者のみの世帯、母子世帯、障がいのある人のいる世帯で市民税所得割が非課税の世帯が対象

※簡単な除雪などに人の手を借りたい

(美助っ人さん=ボランティア利用助成事業)

買い物、掃除、洗濯、話し相手などの有償ボランティアの利用料を助成 ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯に暮らす体の弱い人で、所得税非課税世帯の人が対象

※ゴミ出しにいけない

(ゴミ出しヘルパー事業)

高齢者世帯などで日々のゴミ出しがたいへんな場合に、町内ごとに委嘱しているゴミ出しヘルパーがゴミ出しを支援

※買い物がたいへんで食事の準備ができない

(ふれあいランチサービス事業)

「食事を作るのがたいへん」といった人に、調理されたお弁当を配達 65歳以上の人のみの世帯で、お弁当の配達が必要と市が認める人が対象

※克雪住宅にしたい

(克雪住まいづくり支援事業)

克雪住宅の建設費の一部を助成



市内各地の積雪状況を視察
日本共産党議員団



くわしくは市役所(☎526-5111)・各区総合事務所
または日本共産党議員団(☎543-1890)へ